

3号機 原子炉再循環系配管等の点検計画」の変更について

平成 17 年 1 月 21 日

平成 15 年 5 月 16 日付けで原子力安全・保安院に提出した「炉心シュラウド及び原子炉再循環系配管等の点検計画」のうち、3号機の原子炉再循環系配管等の点検計画を次のとおり変更し、昨日（1月20日）、同院に提出しました。

今後は、変更した計画書に基づき点検してまいります。

(主な変更内容)

前回（第 12 回）の定期検査で実施した配管取替により、溶接線の総数が 5 箇所増えました。

（溶接線総数：85箇所）

今回（第 13 回）の定期検査では、前回の定期検査で点検を実施していない箇所等について点検することとしました。

ノズル部（ 1）のうち、高周波誘導加熱による応力改善策（HSI）を実施していない箇所については、今回の定期検査にて HSI を実施することにしました。これに伴い、当該部を HSI 施工前に点検することとしました。

- 1 ノズル部とは、表中の「原子炉再循環出口管台とセーフエンドの溶接部」、「原子炉再循環入口管台とセーフエンドの溶接部」及び「ジェットポンプ計装管台とシールドボディの溶接部」のことです。

以上

浜岡原子力発電所3号機 原子炉再循環系配管等の点検計画(変更前)

点検部位 ^{*1}	点検箇所数	点検実績 (箇所数)		点検計画(箇所数) (第12回点検分含む)				
		定期検査時期						
3号機(SUS316(LC)製)		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
原子炉再循環出口管台とセーフィド [*] の溶接部	2	0	1	2	0	0	1	1
原子炉再循環入口管台とセーフィド [*] の溶接部	10	0	2	3	5	2	3	2
原子炉再循環系配管溶接部(呼び径100A(外径約11cm)以上)	34(母管)	13	9	16 ^{*3}	18	10	8	8
	12(リングヘッド [*])	2	0	0	12	3	3	3
	20(ライザ [*] -管)	2	3	3	20	5	5	5
ジェットポンプ計装管台とシルボディ [*] の溶接部	2	0	0	1	1	0	0	1
合計	80	17	15	25	56	20	20	20

(注) 配管の取替を行う場合には、高周波誘導加熱による応力改善策(IHSI)を実施する。

*1: SUS316L系材を用いて溶接が行われた原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管類のうち、日本電気協会技術規程「軽水型原子力発電所用機器の供用期間中検査」(JEAC4205-2000)において体積検査(超音波探傷試験)を要求されているもの。

*3: 4箇所については、配管取替時に高周波誘導加熱(IHSI)による応力改善を実施済み。

浜岡原子力発電所3号機 原子炉再循環系配管等の点検計画(変更後)

点検部位 ^{*1}	点検箇所数	点検実績 (箇所数)		点検計画(箇所数) (第13回点検分含む)				
		定期検査時期						
3号機(SUS316(LC)製)		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
原子炉再循環出口管台とセーフィド [*] の溶接部	2	0	1	2	0	2	0	0
原子炉再循環入口管台とセーフィド [*] の溶接部	10	0	2	3	5	5	3	2
原子炉再循環系配管溶接部(呼び径100A(外径約11cm)以上)	34(母管)	13	9	16	18	16	2	8
	13(リングヘッド [*])	2	0	0	12	0	4	4
	24(ライザ [*] -管)	2	3	3	20	1	4	7
ジェットポンプ計装管台とシルボディ [*] の溶接部	2	0	0	1	1	2	0	0
合計	85 ^{*2}	17	15	25	56	26	13	21

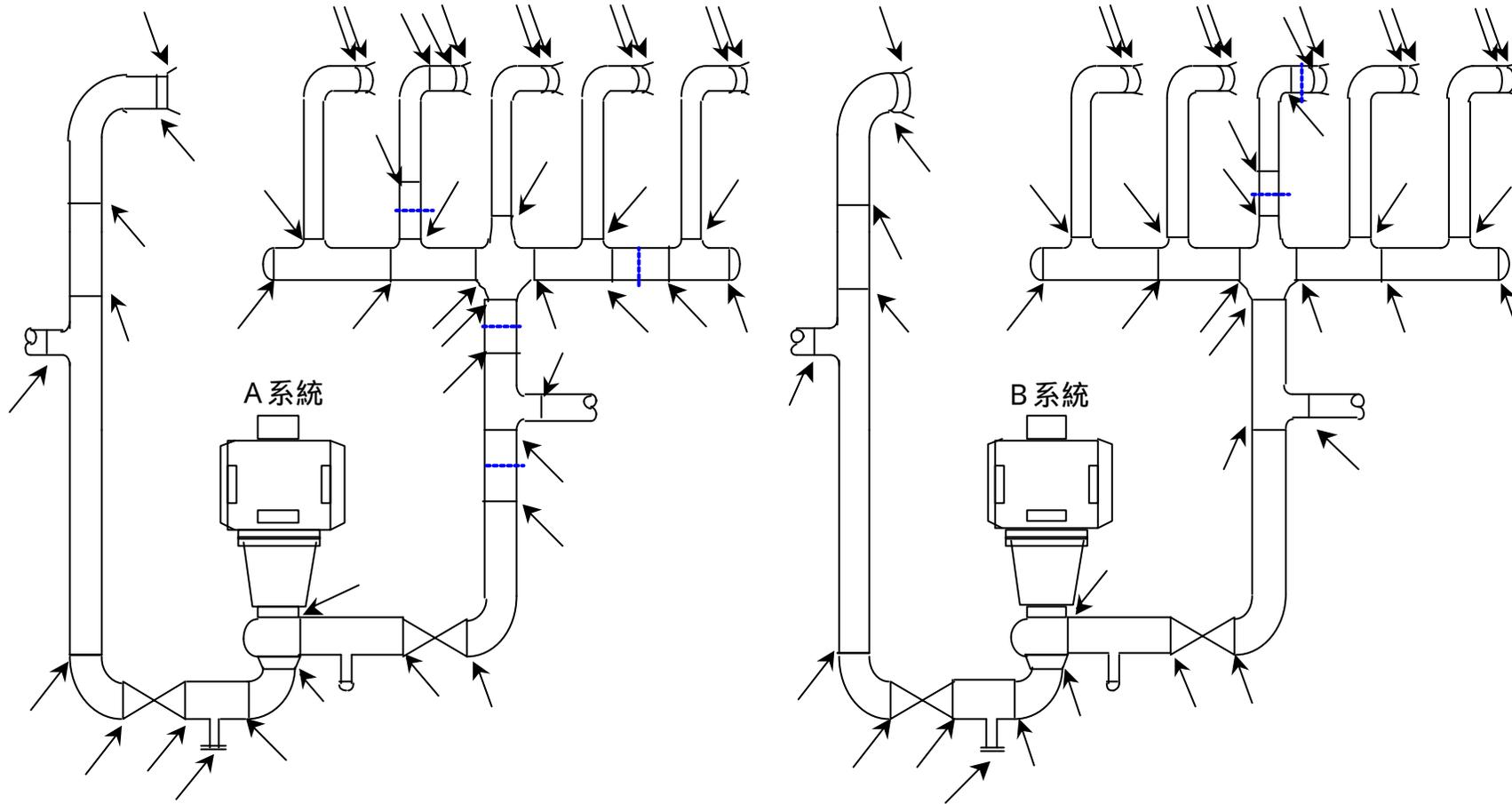
(注1) 着色部は今回の変更箇所を示す。

(注2) 配管の取替を行う場合には、高周波誘導加熱による応力改善策(IHSI)を実施する。

*1: 原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管類のうち、日本機械学会規格「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA1-2002)において体積検査(超音波探傷試験)を要求されているもの。

*2: 22箇所については、配管取替時に高周波誘導加熱による応力改善策(IHSI)を実施済み。

原子炉再循環系配管図（浜岡原子力発電所3号機）



- : 溶接部（83箇所）
 （図にはありませんが、ジェットポンプ計装管台とシルベティの溶接部（2箇所）についても点検を行います。）
- : 配管取替に伴い切除された旧溶接部（6箇所）

(参考) 再循環系配管 点検箇所 解説

